

# 予算特別委員会

## ◎審査にあたつた委員

委員長 根本 信雄  
副委員長 鈴木 隆司  
委 員 青山 英樹  
藤井 精七  
大木 義正  
熊田 宏  
諸根 重男  
栗崎 千代松



第1予算特別委員会審査

## 国民健康保険特別会計補正予算の主な内容 (歳出) (単位:千円)

内 容	補 正 額
療 養 諸 費	△27,348
高 額 療 養 費	5,904
後 期 高 齢 者 支 援 金	430

原案のとおり可決

〈議案第46号〉

## 平成21年度矢吹町国民健康 保険特別会計補正予算(第 1号)

本案は、既定の歳入歳出予算から、それぞれ2千101万4千円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ21億2千57万1千円とするもの。

## 土地造成事業特別会計補正予算の主な内容 (歳出) (単位:千円)

内 容	補 正 額
土 地 造 成 事 業 費	6,926

原案のとおり可決

〈議案第47号〉  
平成21年度矢吹町土地造  
成事業特別会計補正予算  
(第1号)

本案は、既定の歳入歳出予算に、それぞれ692万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ1千875万6千円とするもの。



第2予算特別委員会審査

## 一般会計補正予算の主な内容(歳出)

(単位:千円)

内 容	補 正 額
国民健康保険特別会計繰出金	70,000
認定こども園施設整備費	116,642
児童生徒サポート体制確立事業	1,609
矢吹中学校改築事業	96,140
幼稚園施設改修事業	284
松房遺跡埋蔵文化財発掘調査事業	10,321

原案のとおり可決

〈議案第45号〉

## 平成21年度矢吹町一般会計 補正予算(第2号)

本案は、既定の歳入歳出予算に、それぞれ2億9千504万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ58億7千184万1千円とするもの。併せて債務負担行為の補正をするもの。

# 第一予算特別委員会

## ◎審査にあたつた委員

委員長 竹元 孝夫  
副委員長 吉田 伸一  
委 員 鈴木 良一  
棚木 義和  
永沼 永沼

# 予算特別委員会の質疑

## 企画経営課

Q 国からの地域活性化・経済危機対策臨時交付金で、雇用創出・雇用政策についてはどうなっているのか。

A 現在各課で調整しており、9月補正に計上できるのでは。

Q 雇用創出事業で、一人でも多くの雇用ができる仕事を。

A 産業振興課が9月補正予算に向けて取りまとめをしている。

## 都市建設課

Q 宅地分譲買戻地売払収入の説明を求める。

A 売却できずに残っている2区画の内、1区画について正式な購入申込みがあつた。その後相手方の事情により取下げになつたが、売却できると判断し予算処置をした。実際は売れず、今回新たに予算計上した。今後買戻し特約をつけた

A 買戻し特約を付けずに売買していく。

## 学校教育課

Q 認定こども園の補助額が変わったか？

A 以前の制度は、園児1人当たりの単価で算出。新制度では施設規模における限度額で、標準基準額が設定されたため。

Q あいだ保育園に約2000万円補助しているが、来年度も補助するのか？

A あいだ保育園とは本年度末までの約束である。来年度は、町立のあさひど、私立の聖和、社協のひかりの3園での受入となる。

Q サポートチームは具体的に何をするのか？

A 生活習慣病の健康診断、心理保健士の派遣、相談業務、学校保健委員会を中心とした心と体の相談等である。

Q 単年度事業か？

A 単年度である。  
Q 認定こども園の施設規模は？

A 現在の幼稚園を解体し、認定こども園を建設。規模は保育園が定員60名、幼稚園が90名、合計150名の施設となる。

Q 町の方針では保育園をなくしていく方向にいくのか？

A 町立として、あさひ保育園は存続する。

## 生涯学習課

Q 発掘調査時の人夫を、仕事がない人の雇用で。

A 人夫は、シルバー人材センターへ登録している人を考えているが、委託者へ要望する。

## 保健福祉課

Q 平成20年度の国保税の最終収納率はどのくらいになるのか？

A 前年度と対比してどうか。A 90.09%である。

Q 平成19年度より収納率は若干落ちている。税全体でも若干下がっている。

Q 高血圧性疾患が第一位であることから、保健師のは？

予防医療のための活動が必要。A 将来的には考えていく課題であるが、現状では検討するとまではいかない。

A 国保担当部門に1名保健師を配置し、特定保健指導の中心として予防活動をしている。

Q 家族介護と施設介護に支払っている金額との差額を在宅介護手当として支給する考えは？

A 特定検診では、高血圧や高血糖の人を抽出し、生活习惯の改善を支援していく。

Q 病院が老人のサロン的になっているのは問題。

A 複数の医療機関にかかる重複受診や、頻回受診はレセプト点検をして防ぎたい。

Q レセプト点検や検診結果によるフォローは。

A 特定検診では、高血圧や高血糖の人を抽出し、生活习惯の改善を支援していく。

